



けん なんちゅう かくびょう いん  
**みやぎ県南中核病院**  
*South Miyagi Medical Center*

病院案内  
INFORMATION



# 地域に信頼される質の高い 親切な医療サービスを提供する

## 医療拠点としての当院の役割と活動

みやぎ県南中核病院企業団 企業長

下瀬川 徹



みなさん、こんにちは。みやぎ県南中核病院企業団企業長の下瀬川です。2017年10月より小職を拝命し、企業団の運営にあたっています。私から簡単に当院について紹介しましょう。

みやぎ県南中核病院は、仙台市の南に30kmほど離れた大河原町にある病床数310床の自治体病院です。大河原町は、宮城県の県南地域のほぼ中心に位置する小さな町ですが、国道4号線が町内を貫き、東北縦貫自動車道や新潟に通じる国道113号線へのアクセスがよく、県南の交通の要所として発展してきました。

みやぎ県南中核病院は、2002年8月に角田市、柴田町、村田町、大河原町の1市3町を運営母体とする地域の病院として開院しましたが、過去二十数年の間に県南の急性期医療の拠点として大きく発展してきました。開院後、救急告示病院、臨床研修指定病院、地域医療支援病院の認定を取得し、地域災害医療センター、災害派遣チーム(DMAT)指定病院、地域がん診療病院等の認定も受け、2014年7月には地域救命救急センターに、2016年4月には仙南医療圏で唯一の地域がん診療連携拠点病院に指定され、2024年4月に再認定されました。また、2023年10月には仙南医療圏で唯一の第二種感染症指定医療機関にも認定され、圏域の新興感染症等に対する拠点機能も担うことになりました。救命救急センター、腫瘍センター、緩和ケア病棟、指定感染症病棟を備えた当院は、充実した医療スタッフ、施設・設備や診療体制により、仙南二次医療圏の医療の要として高い評価と信頼を得ています。

当院は34診療科を備えた総合病院であり、伊勢福修司病院長を含め、常勤医師76名、研修医34名、嘱託医2名の合計112名の医師(2024年4月1日時点)と、多数の医療スタッフを擁し、仙南医療圏はもとより名取市、岩沼市、亘理町、山元町など、県南沿岸部を含む広域をカバーする

医療拠点として活動しています。当院は、24時間体制の救命救急医療に特に力を入れており、病院敷地内にはドクターヘリ発着のヘリポートを備え、県北の大崎市民病院、東部沿岸部の石巻赤十字病院と並ぶ代表的な地域の救急医療施設として、仙南医療圏における高度急性期医療に大きく貢献しています。年間の救急車受け入れ台数は4,300台を超え、東北・北海道でトップの実績を有します。

仙台圏以外の宮城県各地域と同様、県南部でも高齢化と人口減少が急速に進んでいます。いま当院に求められているのは、仙南医療圏における地域包括ケア社会構築の中心として医療、介護、福祉、保健の連携づくりを推進し、県南全域を視野においた将来の理想的な医療社会を実現することにあります。宮城県は、今後も持続的医療を推進するため2024年に次期医療計画(第8次医療計画)を公表しました。当院は引き続き高度急性期、急性期医療の拠点としてさらに充実を図るとともに、仙南医療圏の医療、介護施設との連携を一層強化し、急性期から、回復期、慢性期、在宅にいたるシームレスな医療体制整備に努めます。具体的には、2024年9月に院内に総合診療科を独立して設置し、圏域の将来の医療ニーズに対応します。

宮城県南部は、蔵王連峰や白石川など風光明媚な自然環境に恵まれ、歴史的にも伊達藩ゆかりの特有の文化を築いてきた土地柄です。当院は、「地域に信頼される、質の高い、親切な医療サービスを提供する」を理念に掲げており、この地域で暮らす住民の健康と幸せを守る使命があると考えています。医療スタッフ一同、みやぎ県南中核病院の職員であることに誇りと責任を持ち日々の診療に励んでいます。皆さまの変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

## 地域の期待に応える病院をめざして

みやぎ県南中核病院 病院長

伊勢福 修司



2024年4月に病院長を拝命しました伊勢福です。

ご存知のように宮城県には4つの二次医療圏があります。仙台医療圏は都市型医療圏であり、2つの大学病院や仙台医療センターなど高度急性期医療を担う大規模病院が林立しています。残りの3つの地方医療圏には、高度急性期医療を担う病院は各医療圏に1つずつあります。大崎・栗原医療圏では大崎市民病院、石巻・登米・気仙沼医療圏では石巻赤十字病院、そして仙南医療圏では当院です。

当院は大崎市民病院や石巻赤十字病院より規模が小さく病床数も少ないですが、地域救命救急センター（2014年7月）および地域がん診療連携拠点病院（2024年4月）の指定を受け、高度急性期医療、がん診療に必要な人材・設備を備えています。仙南医療圏に加えて仙台医療圏の沿岸南部から当院へ年間4,300件を超える救急搬入があります。34診療科112名（2024年4月1日時点）の医師を含む700名余りの職員が、地域の患者さんに適切な医療を提供できるように日々努めています。仙南医療圏の人口は16万6千人余り、人口密度は107人/km<sup>2</sup>であり、4つの医療圏の中で最少です。人口も少ないのですが医療機関も少ないため、10万人あたりの一般病床数も514床（2021年）と最少です。従って、当院および地域の限られた病床を有効に使用するために、病院間の協力・連携が必須です。病院に限らず世の中は働き手不足です。当院も限られた数の職員で安定して病院事業を継続するために、DX

の推進など色々な工夫を凝らしています。職員ひとりひとりの能力向上が病院全体の力を高めますので、病院共通および各職種独自の研修を計画的に実施しています。

地方の病院だからといって、医療水準の維持・向上への注力を怠ることはできません。ロボット手術の導入、最新鋭の血管造影装置の導入、ハイブリッド手術室の増設などを順次進めていきます。

全国の地方と同様に、仙南地域の人口減少と高齢化が急速にすすんでいます。2020年の仙南医療圏の人口は16万6千人、高齢化率は34%ですが、2030年には人口14万6千人、高齢化率は38%になると推定されています。訪問看護ステーションの充実、総合診療科の新設・増強など、急性期医療だけでなく高齢化に伴う医療需要の内容の変化に対応できるしくみを準備していきます。

規模は小さくても地域の期待に真摯に応える病院を目指して、職員一同鋭意努めてまいります。皆様のご支援をお願い申し上げます。

# 救命救急センター

救命救急センター  
救急医療が必要な  
患者さんに24時間  
対応しています

## 救命救急センター

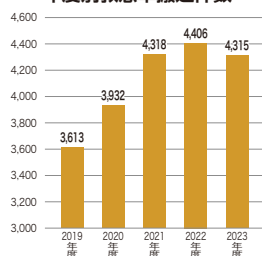
24時間365日体制で軽症から重症  
までの救急医療に対応しています。  
医療系学生や救急救命士の実習を多数  
受け入れ、教育にも力を入れています。



## ● 救急患者受け入れ状況

当院では年間4,300～4,500台程度の救急車を受け入れています。そのうちの半数近くが入院治療を要する重症の患者さんです。休日・時間外には救急車以外での来院も含めて、年間約13,000人の患者さんを受け入れています。ドクターヘリでの患者搬送も受け入れています。年間20件ほどの搬入があります。

年度別救急車搬送件数



## ● 診療体制

救急科専従医4名（救急科専門医）と研修医に加え各診療科の医師とで、救急車により搬送された患者さんに対応しています。救急車からの直接の收容依頼以外に、近隣の他医療機関から紹介された患者さんの初期対応にもあたっていますが、入院に際しては、各専門診療科に引き継ぐ場合が多いですが、救急科で各種重篤病態の治療を行うこともあります。いずれも最善の治療が受けられるようになっています。



### CT装置

放射線部内とは別に救命救急センター内に320列CTを新たに設置しました。



### 一般撮影装置

救命救急センター内にワイヤレスフラットパネルディテクタ搭載一般撮影装置を設置しております。



### 救命救急センター (ICU)

病床数は15床。救急外来から専用エレベーターで直結しています。



### 血管造影室

心血管用血管撮影装置1台、汎用血管撮影装置1台があり、緊急の血管内治療に対応可能です。



救命救急センター

## 災害医療

当院は地域災害医療センターに指定されており、災害派遣医療チーム (DMAT) を組織しています。

当院は災害派遣医療チーム (DMAT) を3隊編成しています。医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災害や多数傷病者発生時などに被災地で医療活動をしたり、医療体制を構築する支援を行う専門チームです。専門のDMATカーを用意し、有事に出動できる体制を整えています。



令和6年能登半島地震被災地派遣時



# 腫瘍センター



## 腫瘍センター

専用診察室、無菌調剤室、外来化学療法室、放射線治療室、がん相談支援センターおよび緩和ケア病棟があります。外来化学療法室には、12床のベッドと2台のリクライニングチェアがあり、同時に最大14名の化学療法が可能です。放射線治療は、最新のリニアック装置を備えています。



## ● 腫瘍センター分室

安全に配慮した抗がん剤等の薬剤調製を行い、安心して治療を受けていただけるよう、患者さんからの質問・相談に積極的に対応しています。



## ● 院内がん登録

院内がん登録とは、当院で診断・治療を行った全てのがん患者さんについて、その判断から治療、および予後に関して調査を行い公的機関に報告する制度です。当院は2006年3月より院内がん登録を開始しており、院内がん登録実務中級者が登録を行っています。

患者さんに最も  
適した治療をチーム  
医療で提供します



緩和ケア内科はがん（悪性腫瘍）の診療を受ける患者さんに生じる様々な苦痛を多職種スタッフ（医師、看護師、公認心理士、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー）が協力して和らげ（緩和医療）、患者さんの生活の質を改善することを目標として診療にあたっています。



### 緩和ケア病棟

2015年5月に緩和ケア病棟が開棟しました。患者さんだけでなくご家族の気持ちにも寄り添ったケアを提供しています。



## ● 診療体制

がん薬物療法を緩和ケアの領域における各担当医師、がん専門薬剤師、がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師などの医療スタッフがチームとして診療にあたっています。随時、医療ソーシャルワーカーや公認心理士と連携します。放射線治療は、東北大学と連携して診療にあたります。

## ● がん相談支援センター

がんの疑いがあると言われたとき、診断から治療、その後の療養生活、さらには社会復帰と生活全般にわたって疑問や不安を感じたときご相談をお受けしています。

# 消化器病センター



## 消化器病センター

消化器疾患全般について、消化器内科と外科が連携、情報を共有し、診断から治療までを一貫した方針で診療しています。安全で質の高い医療を提供し、皆様に満足いただけるように努めています。



## ● 診療体制

消化器内科部門では、腹痛や吐気、便秘異常、吐血や下血などの腹部症状を呈する方、倦怠感や食欲不振、体重減少、貧血などの非特異的の症状のみの方、健診で異常を指摘された全く無症状の方まで、消化器疾患全般にわたり、検査、診断、診療にあたっています。

外科部門では、急性虫垂炎や胆嚢炎、消化管穿孔、腸閉塞などの救急疾患への対応から、消化管がんや肝臓・胆道・膵臓がんの切除など高難度手術まで幅広く治療を行っています。腹腔鏡手術を積極的に導入し、より低侵襲の治療を提供しています。



## 内視鏡室

様々な消化器疾患の内視鏡診断と治療を行っています。通常検査に加え、止血治療、癌やポリープの内視鏡的切除、消化管通過障害に対する処置、総胆管結石採石、胆管ドレナージ、異物除去、胃瘻造設などを行っています。



# 脳卒中センター



## 脳卒中センター

脳梗塞、脳出血などの脳卒中は発症初期から専門的治療を行うことが大切です。当院は脳神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科でチームを作り、MRIなどの高度な診断技術とtPA 静注療法、外科手術などの必要な治療を24時間いつでも提供しています。治療開始後は理学、作業、言語、嚥下療法などを早期に開始することにより1日でも早い社会復帰を目指しています。

## ● 血栓回収療法

急性期脳梗塞の治療方法として、血栓溶解療法を初めとする薬物療法に加え、カテーテルを用いた治療法が普及してきました。その中でも血栓回収療法は、カテーテルで詰まった血栓を直接取り除く治療方法です。奏功すると劇的に回復することもあります。2024年夏から当センターでも施行できるようになりました。



CT 装置

放射線部と救命救急センターに320列・80列CT装置を設置し、被ばく低減を目指しながら高画質な画像を提供しています。



MRI

3T (テスラ) 1台、1.5T (テスラ) 1台、計2台の高磁場MRI装置で、幅広いニーズに対応しています。

# 内科系診療部



循環器内科

## 脳神経内科

入院患者は年に500名程度で、ほとんどが緊急入院です。大半は脳血管障害の急性期ですが、てんかん発作・発作後状態は約5%、その他に神経感染症、脳症、変性疾患、脊髄・末梢神経障害、運動ニューロン病、筋疾患が含まれます。代謝・中毒・薬剤性も見られます。日本神経学会の准教育施設です。

## 腫瘍内科

専門の外来化学療法室を備える腫瘍センターにおいて、がん薬物療法に精通している医師、がん化学療法看護認定看護師、がん専門薬剤師などがチームとして診療にあたっています。東北大学病院や東北医科薬科大学から非常勤医師が応援にきています。

## 糖尿病・内分泌内科

当院は内分泌代謝・糖尿病内科領域研修施設及び日本糖尿病学会の認定教育施設であり、糖尿病に関しては指導医、専門医が糖尿病療養指導士(CDEJ)と共に治療及び指導にあたっています。CGM(持続血糖測定)やCSII(持続インスリン皮下注)等による治療も行っています。内分泌に関しては各種負荷試験を外来・入院にて行っており、甲状腺を初め、下垂体、副腎、副甲状腺異常等の精査・加療を行っています。仙南地域で糖尿病、内分泌関連の緊急症のほとんどが当院に搬入されており、症例が集まっております。

## 消化器内科

高い専門知識と経験を有するスタッフが、上・下部消化管、肝臓、胆道、膵臓の消化器疾患全般に対応しています。年間8,500~9,200件の内視鏡検査・治療を行っています。あらゆる消化器疾患の診断・内科的治療が、当院にてほぼ完結できる状況にあります。

## 腎臓・膠原病内科

腎臓・膠原病内科では、免疫異常が病因となることの多い疾患を共通して担当するのは特色です。他の内科系診療科疾患の間に埋もれがちな慢性腎臓病や多発関節炎等の診療を行います。腎炎・ネフローゼでは可能な限り腎生検を行ってから治療するよう心がけています。また不明熱と診断された症例では血液異常や臓器障害の有無を検索し、感染症の中に隠れた血管炎を逃さないように努めています。

## 循環器内科

当科は冠動脈インターベンションをはじめとする循環器疾患全般の診療を行っています。24時間オンコール体制により急性冠症候群を始めとする致死的疾患に対して迅速に対応しています。また東北大学病院等と連携のもと、外科治療、不整脈アブレーションにも積極的に治療介入しています。一方で、診療の実績を国内外の学会、論文を通して積極的に発表・報告しています。

## 緩和ケア内科

がん診療を受ける患者さんはその過程で様々な苦痛(痛み・吐き気・息苦しさなどの身体的苦痛、気持ちのつらさや不眠などの精神的苦痛など)を経験することがあり、当科ではそうした苦痛を和らげる(緩和する)ことを目的の一つとして診療を行っています。また、緩和ケアは自宅にいらしても受けることは可能であり、御本人・御家族の意向を踏まえつつ在宅訪問診療(いわゆる往診を受けながらの自宅療養)への調整も行っています。



放射線治療科

## 放射線治療科

主に各種の悪性腫瘍を対象として、リニアックを使用した放射線治療を行っています。各診療科と協力して、手術や化学療法を組み合わせた集学的治療に取り組んでいるほか、がんによる痛みや出血などの症状の軽減を目的とした緩和照射にも随時対応しています。

## 血液内科

非常勤医師による週1回の専門外来で、主に各種貧血・血小板減少症や骨髄増殖性疾患の診療、血液腫瘍の経過観察などを行っています。必要に応じて骨髄検査、赤血球輸血も行います。入院を要する例や、より専門的な対応が必要な例については、仙台圏の医療機関の血液内科へ紹介しています。

## 精神科

入院患者のせん妄・精神疾患の治療、当院に身体治療のため外来通院されている方で精神科的な治療が必要な方の診療、ならびに救急搬送例における精神疾患の対応を行っています。現在、精神疾患のみでの外来診療は行っていません。

## 呼吸器内科

呼吸器内科専門領域のアンメットニーズである肺癌、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症を主に診療しています。感染症（膿胸、肺化膿症、真菌症）や気胸などの良性疾患についても呼吸器外科の先生と連携して外科処置を行い早期退院できるよう努めています。

## 放射線診断科

当科の主な業務は、単純X線写真やCT、MRI、核医学検査などの画像診断と、カテーテルなどで血管内治療等を行うインターベンションです。これらの業務を診療放射線技師（単純X線写真、CT、MRI、X線透視、核医学などの検査を実際に行う）と日々協力して行っています。また、研修医向けに画像カンファレンスを定期的で開催し、診療レベルの向上に努めています。

## リハビリテーション科

脳卒中や脊髄損傷などによる障害を抱えながら生活をしている方が、生活の障害を克服するための医療的な援助をすることを目的に診療しています。診察の上、必要と判断される方には、外来リハビリ訓練や、附属訪問看護ステーションと連携した訪問リハビリを行っています。地域のリハビリ施設との連携を深め、協力し合いながら診療するよう努めています。

## 病理診断科

構成は病理専門医2名、臨床検査技師5名（5名とも細胞検査士）です。毎週、東北医科薬科大学病理講座及び東北大学病院病理部から2名の病理専門医の支援を受けています。業務は外科病理診断、細胞診断、病理解剖（剖検）、術中迅速病理診断・術中迅速細胞診、CPCなどを行っています。また、当院は日本病理学会研修登録施設、日本臨床細胞学会認定施設です。

## 内科・総合診療科（院内標榜）

内科・総合診療科は、皆さんの抱える健康問題に全身的・全人的に向き合うことを専門にしており、当院では、2024年9月に新設されました。病気の初期や症状が典型的でない、また、多彩な症状が出てしまっている場合は、病気の診断に時間がかかることがあります。当科では、かかりつけの先生や院内外の専門科と連携して、確定診断をつけることを目標としています。

# 外科系診療部



外科・消化器外科

## 外科・消化器外科

主に消化器外科疾患を対象として、胆嚢結石症、鼠径部ヘルニア、虫垂炎、腹膜炎、腸閉塞などの良性疾患に加え、胃癌、大腸癌、肝胆膵等の悪性疾患の診療にあたっています。その他にも、外傷の診療を行っています。東北大学病院の外科と連携しつつ、腹腔鏡手術を積極的に導入しながら、年間600～700例の手術を行っています。

## 救急科

主に心肺停止蘇生後、各種ショック、多臓器不全、多発外傷、中毒、環境障害、広範囲熱傷など、複数診療科領域にまたがる、またはどの専門診療科の領域にも合致しない重篤な患者の集中治療を行います。また各診療科、初期臨床研修医の先生方にご協力いただき、救急外来での初期診療（開業医からの紹介患者、救急要請、時間外診療）をマネジメントしています。その他プレホスピタル連携、災害医療、院内急変対応にも関与しております。

## 脳神経外科

脳卒中診療について、脳神経内科、リハビリテーション科と協力し、急性期出血性脳卒中治療、脳梗塞慢性期の手術を行います。頭部外傷は救急部、外科、整形外科などと連携をとり治療しています。腫瘍、水頭症、顔面痙攣、三叉神経痛は脳神経内科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科と協力し、外科的治療を提供しています。

## 形成外科

先天性・後天性の顔・手足などの外見上、機能上の変形、組織欠損、醜形などを診療しています。具体的には、手の外科（手の外傷や先天異常、またバネ指、手根管症候群、陥入爪などの炎症疾患など）、顔面（顔面外傷、顔面骨骨折、顔面の先天異常など）の治療などですが、粉瘤、脂肪腫、ガングリオンなどの良性腫瘍の切除も行っています。最近ケロイドの切除と術後の放射線治療も行っています。また褥瘡や、糖尿病性壊疽の治療にも対応しています。

## 整形外科

超高齢社会の日本、その中でも仙南地区では高齢者の骨粗鬆症に伴う骨折は増加の一途をたどっています。高齢者の大腿骨頸部骨折などの骨折に対して、標準的で安全な治療を目指しております。その他の四肢骨折についても対応できる範囲で治療に臨んでおります。骨折以外では、肩関節疾患に対する関節鏡下手術や人工関節手術も行っております。なお、股関節や膝関節疾患、脊椎の慢性疾患や外傷、骨軟部腫瘍などに対しては、当院で専門的な治療は行っておりません。

## 泌尿器科

当院泌尿器科は、常勤医3名体制で泌尿器科部門と人工透析部門の診療に従事しています。前者では尿路・精路及び副腎の悪性腫瘍や排尿蓄尿障害・尿路結石症・重症尿路感染症等に対する保存的治療・侵襲的検査及び治療（開腹術、鏡視下手術、TURP、TUL、ESWLなど）を行っています。がん対策の強化として外来化学療法にも対応しています。後者では腎臓内科医と連携し慢性期維持血管透析、腹膜透析、急性期血管浄化療法（ECUM、CHDF、血漿交換、免疫吸着療法など）を行っています。



## 麻酔科

手術室での麻酔管理を中心に行っています。麻酔科医5名体制(指導医3名)で、年間約2,000件の手術の麻酔管理を行っています。

全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、神経ブロック、静脈麻酔など、小児から高齢者まで手術・症例ごとに適切な麻酔方法を選択し、麻酔管理を行っています。

## 歯科口腔外科

全身合併症を有する患者さんの抜歯や埋伏智歯の抜歯、歯の移植・再植、嚢胞性疾患、外傷(脱臼・顎骨骨折)、口腔腫瘍(良性腫瘍、悪性腫瘍; 口腔癌)、唾液腺腫瘍(唾石等)、外科矯正手術などの外科処置に加え、歯性感染症、顎関節疾患、口腔粘膜疾患、舌痛症等の口腔領域に発生する顎顔面痛などの治療を行っています。その他、歯の欠損に対するインプラント治療(保険外診療)及び骨造成(骨移植)などの治療も行っています。また患者さんの状態、病状および疾患に応じて、入院(局所麻酔手術、全身麻酔科での手術)での治療も行っています。

## 皮膚科

宮城県南地域の基幹病院として東北大学病院や他の専門施設と連携しつつ、皮膚科全般にわたって診療をしています。皮膚腫瘍の治療、重症皮膚疾患の入院治療、円形脱毛症の治療、乾癬などに対する紫外線や生物学的製剤による治療を行っています。

## 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉領域の一般外来診療の他、手術としては中耳手術と副鼻腔手術を中心に、その他一部頭頸部良性疾患の手術(気管切開術、顎下腺手術、耳下腺手術など)を行っています。

## 眼科

眼科疾患のうち、難治例の紹介、診断困難例、高度医療を要する症例等で専門的治療が必要な場合の相談に対応しています。

## 呼吸器外科

原発性肺癌に対する低侵襲手術を積極的に行っています。気胸、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍などについても、内視鏡治療を行っています。

## 乳腺外科

良悪性の鑑別診断が困難な乳腺腫瘍や乳房撮影で悪性が疑われるような微細石灰化を有する症例等の診断と、乳がん術後のフォローアップを専門医が行っています。

## 血管外科

血管の病気に関わる診療を幅広く専門的に行う仙南地区では唯一専門医が常勤する診療科です。腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、外傷等の他、透析シャントの作成や手直しも数多く診療しています。

## 甲状腺外来

甲状腺疾患のうち、難治例、診断困難例、高度医療を要する症例等で専門的治療が必要な場合の相談に対応しています。

## ストーマ外来

院内外の消化管・尿路ストーマ保有患者さんの相談に外科医師(ストーマ認定士)と皮膚・排泄ケア認定看護師が対応しています。

# 小児周産期センター



## 小児科

当科は宮城県南部の小児医療の中心として紹介患者の受け入れ、当院外来受診者の中で比較的重症度の高い方の入院治療を行っています。診療科の特性上、特定の疾患に絞るのではなく、小児科全般の診療を行っています。より専門性の高い検査、治療が必要な方は主に大学病院や宮城県立こども病院への紹介を行うこともあります。また、予防接種、乳幼児健診や専門外来として循環器疾患、アレルギー疾患にも対応しています。また、発達支援外来も2020年4月より開始しています。

## 小児科アレルギー外来

近年増加している食物アレルギーなどのアレルギー疾患に対応するため2015年から開設しました。食物アレルギーに限らず、コントロール不良な気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎等、アレルギー全般に対応しています。食物アレルギーでは過剰なアレルゲン除去とならないよう経口負荷試験を行い必要最低限の除去を心掛けています。

## 小児科心臓外来

健診等で指摘された心雑音、不整脈の方を中心に超音波検査、レントゲン、心電図等を行って診断、治療、経過観察を行っています。外科処置が必要な先天性心疾患の方は時期をみて宮城県立こども病院への紹介も行っています。



## 産婦人科

産婦人科専門医資格を持つ常勤医師2名、非常勤医師1名と大学病院からの派遣医師で診療に当たっています。

産科は2020年10月より分娩取り扱いを休止していますが地域のニーズに少しでも応えるため、セミオープンシステムを利用したベテラン助産師のサポートによる懇切丁寧な妊婦健診が可能な体制は整えています。

婦人科では子宮筋腫・子宮内膜症など多種多様な疾患に対して薬物療法と手術療法を行っています。特に腹腔鏡・子宮鏡及び腔式手術に力を入れています。また、悪性腫瘍に関しても進行癌以外はなるべく対応したいと考えています。現時点で早期子宮体癌や子宮頸部の初期病変など対応可能です。



## 産婦人科の今後

現在産婦人科は分娩取り扱いを停止していますが、社会では少子高齢化とそれに伴う地域人口の減少が喫緊の課題となりつつあります。当科としてもやはり地域で安心して子どもを産み育てられる環境を整えることが大切であると考えます。当院は総合病院であり、多くの分野の専門医によるサポートが可能であり、合併症を持つ妊婦さんにも対応できる基盤は整っています。今後も働き方改革に対する医師数の確保など課題は多く残っていますが、再開を目指して少しずつでも体制を整えていきたいと考えています。

# 中央診療部



リハビリテーション部

## 手術室

チームワークを大切に 24 時間体制で定期手術、臨時手術に対応しています。患者さんにとって安全、安心な手術を受けていただけるように術中だけでなく、術前から術後まで一貫したケアを提供しています。

## 人工透析室

急性期病院における血液浄化療法、吸着療法を行っています。また、血液浄化療法の導入の際には導入後の生活を見据えた生活指導など、病棟と連携をとりながら実施しています。

## 栄養管理室

入院中の治療のための食事はもちろん、日常生活の中でも、より良い食生活を送って頂けるように、常に患者さんの立場になって考えた栄養サポートを行っています。

## 臨床工学室 (ME センター)

院内にある医療機器の保守管理業務、臨床技術提供として心臓カテーテル検査やペースメーカー業務・人工呼吸器関連業務・血液浄化業務等を行っています。

## 放射線部

放射線部門は、診断部門と治療部門の 2 部門あります。診断部門は、CT 装置 3 台、MRI 装置 2 台、血管造影装置 2 台、SPECT 装置等を使い、急性期診療の診断、治療のサポートを担っております。治療部門では、放射線治療装置（リニアック装置）による放射線治療にて、がん診療にも取り組んでおります。

## リハビリテーション部

入院・外来合せ、約 20 科の診療科へ対応させて頂いております。「急性期リハ」から「訪問リハ」まで、あらゆる場面での『QOL 改善』を皆様と共に求め、活動しております。



臨床工学室 (ME センター)



人工透析室



放射線部



栄養管理室

# 診療支援部門

各病棟に薬剤師が赴き、入院患者さんの薬剤管理に関与し、医師や看護スタッフ等のサポートも行っていきます。



## 薬事診療部

病院内で使用するすべての医薬品の購入、供給、品質管理はもとより、薬剤に関係する様々な業務を担当し、より安全・安心な薬物療法を提供することで、患者さんの健康回復と維持に貢献できるよう努めています。

### 輸血管理室

●輸血機能評価認定施設（I & A 制度認定施設）  
●日本輸血・細胞治療学会認定輸血検査技師取得

安全で適正な輸血療法のため、血液型・不規則抗体検査、交差適合試験、輸血用血液製剤の受払い・保管管理等の輸血業務を一括して行っています。

### 検査部

検査部は日本心エコー学会認定専門技師をはじめ、各種学会認定資格の保有者が多く、『迅速・高精度』なデータ提供を行い、医療の質の向上に貢献しています。

### 病理診断室

日本病理学会登録施設で、病理医の指導のもと病理組織・細胞診検査の他、術中迅速診断や病理解剖を行っています。

## 検査診療部



検査診療部は輸血管理室、検査部（生理検査、検体検査）、病理診断室から構成されています。

## 細菌検査室



感染症の原因菌を調べるために、血液、喀痰、尿、便などの検査材料から細菌を同定し、その細菌に効果のある薬剤を探す検査を行っています。様々な薬剤耐性菌などの検出状況を調査し、院内感染防止に努めています。



# 高度医療機器

高度医療を提供するため、最新の医療機器を導入しています



## 主な高度医療機器等

- 超電導式磁気共鳴画像診断装置  
(1.5T 1 台、高磁場 3.0T 1 台)
- 放射線治療システム  
(IMRT 対応)
- 心血管用血管撮影装置  
(心臓用・パイプレン)
- シンチレーションカメラ  
(ガンマカメラ)
- 全身用 X 線 CT 装置  
(低被ばく 320 ch・80 ch マルチスライス CT 各 2 台)
- 結石破碎装置  
(泌尿器系 X 線透視撮影兼用)
- 汎用血管撮影装置  
(腹部・頭部・一般用・シングルプレーン)
- 遠隔式 X 線透視撮影装置  
(多目的用)
- 乳房用 X 線診断装置  
(デジタルマンモグラフィ)
- デジタル X 線システム
- 画像ファイリングシステム
- 患者監視システム  
(有線式 ICU、CCU、HCU 室)
- 脳神経外科手術内視鏡システム
- 脳神経外科用手術顕微鏡システム
- 腹腔鏡下手術システム
- カプセル内視鏡システム
- 電子内視鏡  
(上部、下部消化管用システム)
- 内視鏡・超音波画像ファイリングシステム
- 超音波画像診断装置  
(生理検査室用 10 台)
- 自動注射薬払出装置
- 医療情報システム  
(電子カルテ)
- ホルターネットワークシステム  
(インターネットを利用したホルター心電図解析)

# 臨床研修

## 初期研修

急性期医療と地域連携を通じて、患者主体の全人的な医療を理解し、チーム医療を担う基本的診断能力に秀でた若手医師の育成を行うことを初期研修の目標にしています。



1年目には内科系4科（循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科）、外科、救急科、小児科/産婦人科をローテーション研修します。2年目には精神科、地域医療（一般外来）を研修します。約8ヶ月間の自由選択期間には、研修医の多様な希望に対応できるプログラムを組んでおり、複数科で研修するパターンや一つの科で長く研修するパターンなど、様々な研修スタイルを設定できます。また、東北大学病院をはじめとする連携医療機関で最大8週間まで院外研修することも可能です。

リサーチマインドを涵養することも研修目標のひとつです。研鑽に役立つ各種カンファレンスや講義を数多く提供しています。

医師としての人格やプロフェッショナリズムを修得できるように、そして社会の一員として成長し貢献できるように、病院内の全スタッフが支援しています。



## 専門研修

初期研修終了後は、約半数が東北大学病院などの専門研修病院に異動し、約半数が引き続き当院で専門研修を行っています。



### ● 専門医制度に対応した研修プログラム

内科専門研修の基幹病院として、東北大学病院や仙台市立病院、宮城県仙南医療圏の3つの医療施設と連携した当院独自の専門医研修プログラムを作成しました。初期研修後、当院で2年間、上記連携施設で1年間の研修を行い、内科専門医取得を目指します。東北大学病院の各科専門医研修プログラムにも連携施設として参加しております。このプログラムで内科や外科、整形外科などの専門医取得を目指す場合には、専門医研修期間3～4年のうち1～2年半を当院で研修し、残りの期間を東北大学病院ほかで研修します。



### ● 当院の特色

豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、標準的かつ全人的な診療に必要な知識と技能を修得することが目標ですが、仙南医療圏の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるように修練することも重要です。専門医の基本的臨床能力を獲得した後は、将来、高度なサブスペシャリティ専門医への道を歩むことを想定しており、長期的視野に立った育成を行っています。医師としてのプロフェッショナルリズムとリサーチマインドの素養を修得することも目標です。臨床研究成果は、論文や学会を通して国内外に積極的に発信しています。

### ● 指導体制について

医師数は常勤医が76名（多くが専門医・指導医）、初期・後期研修医が34名（2024年4月現在）とバランスがとれており、指導医と研修医の顔が見える関係を築いています。医局も研修医室を中心にコンパクトにまとまっており、指導医と研修医が気兼ねなくディスカッションできる環境にあることが強みです。

# 看護部



## 理念

患者に寄り添い、一人一人を大切にした看護を提供します。

## 看護の特徴

①

### 専門性の高い 看護の実践

救急患者さんや急変患者さんにも速やかに適切な対応ができるよう、集中ケアや救急看護認定看護師、診療看護師によるチームが、ICU退室患者さんと何らかの懸念のある患者さんのもとを定期的に訪床して回り、病棟看護師と連携を図りながら予期せぬ心肺停止を防いでいます。

②

### 固定チーム ナーシング

急性期の短い入院期間でも責任をもって看護を提供するために、固定チームで看護提供しています。その中で看護師がペアになり、患者さんに最も適切と考えられるケアを相談しながら、共にケアを提供していきます。

③

### 医師・コメディカルと チームで患者さんに関わる

医師をはじめ、薬剤師や理学療法士、栄養士、臨床工学技士など看護師を含む多職種間で日々カンファレンスを行い、各々の役割から一人の患者さんに最善を尽くせるようにチームで関わっています。

## 教育基本方針

1. 安全で安心できる看護ケアを実践するための専門的知識・技術・態度の習得
2. 看護倫理に基づき、患者の生命と人権を尊重した行動ができる看護師の育成
3. 医療チームの一員として、看護職としての専門性が発揮できる看護師の育成
4. 看護職として主体的に自己研鑽に取り組む、自律した看護師の育成



## 教育サポート体制

看護師本来の力を発揮できるよう、一人一人の「気づき」を大切に急性期看護に必要なフィジカルや心のケア力を育成します。

## ●教育体制

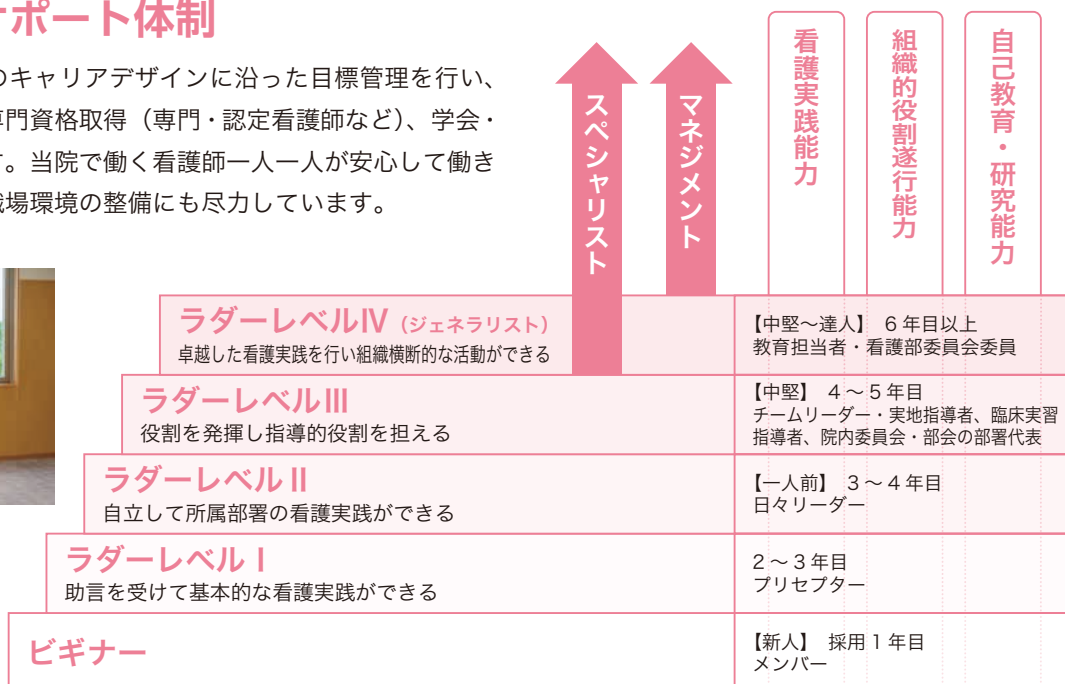
看護部理念のもと、「確かな専門的知識と技術を有し、感性豊かで患者に寄り添った親切な看護を実践できる看護師」を目指し、新人看護師から継続的に充実した教育プログラムで、個々のキャリアニーズと連動させて人材育成していきます。

## ●キャリアサポート体制

専門職として自己のキャリアデザインに沿った目標管理を行い、子育てや進学、高度専門資格取得（専門・認定看護師など）、学会・研修参加も支援します。当院で働く看護師一人一人が安心して働き続けられるように、職場環境の整備にも尽力しています。



新人看護職員研修の様子



# チーム医療



## NST

NST（栄養サポートチーム）は、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、臨床検査技師、医療ソーシャルワーカー、事務部職員などの多職種により構成され、それぞれの専門知識や技術を出し合っ、患者さんの栄養状態を良好に保つようにサポートしています。

## 安全管理

「安全は1人1人が力を合わせて作り出すものである」という考えのもと、病院で働く職員はもちろん、患者さんやご家族も含めたチームとして、医療安全に取り組んでいます。多職種で構成される医療安全対策委員会では、安全巡視に加え、ヒヤリハットからの対策検討、インシデント後の再発防止策の実施、安全システム改善などを行っています。

## 感染制御

病院利用者と職員の感染対策・感染予防の計画・実行、アウトブレイク対応等を行っています。培養検査結果等をもとに抗菌薬が適正に使用されるように抗菌薬適正使用支援チームが積極的に発信しています。地域の医療機関と連携して感染対策のカンファレンスを定期的で開催したり、医療機関を訪問してアドバイスをしたりもしています。

## 緩和ケア

専任の担当医、緩和ケア認定看護師、緩和薬物療法認定薬剤師をはじめ、公認心理士、理学療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどがチームとして外来及び入院患者の緩和ケアを担当します。

## 褥瘡対策

褥瘡対策チームは、医師、WOC、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、事務部職員で構成されており、褥瘡の予防と治癒を目指しています。まず患者さんのリスクアセスメントを行い、エアーマットの選定など褥瘡予防に努めています。全病棟の褥瘡回診を行い、褥瘡の治癒を行っています。褥瘡対策チーム会を開き、発生原因や、治癒法の議論をしています。

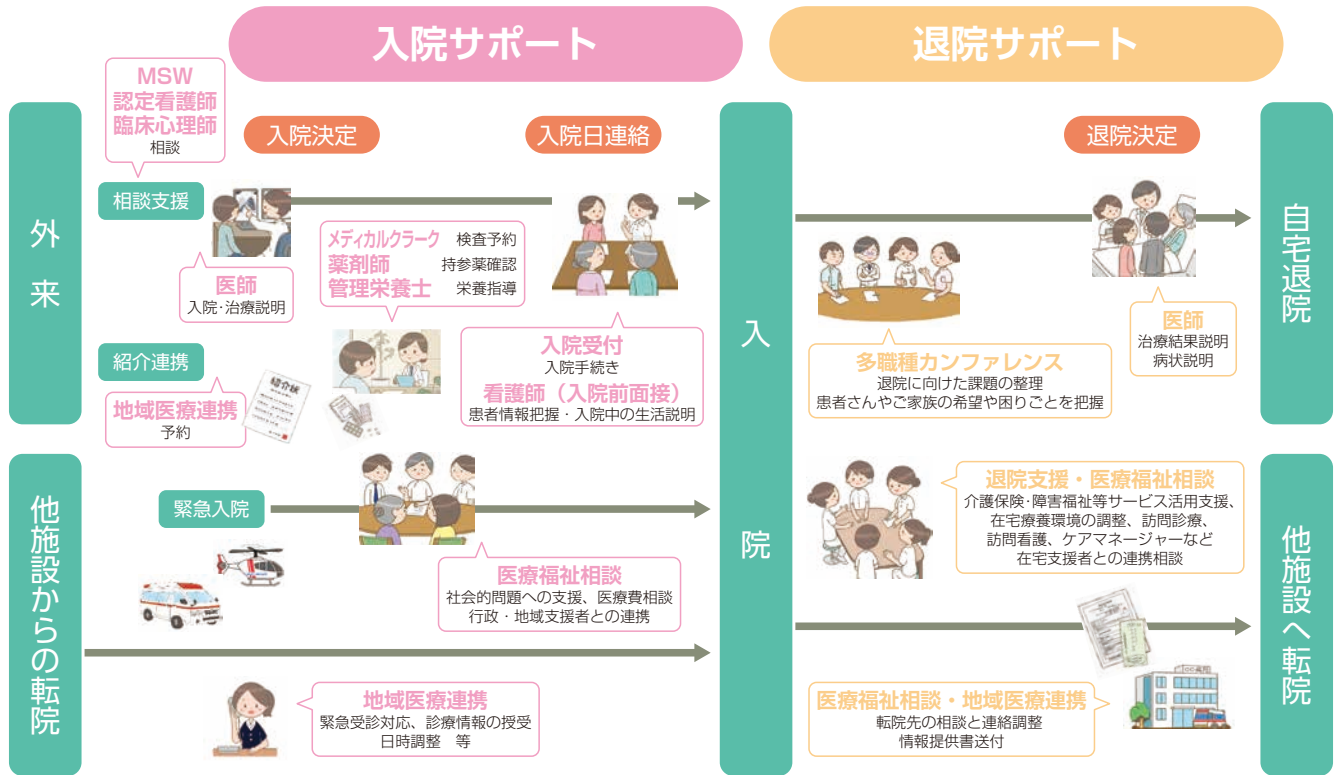
## RRS

院内迅速対応システムでは、一般病棟に入院中の患者さんに対して観察された複数のバイタルサインの異常をもとに、病棟看護師が容態悪化の初期兆候を事前に察知し、救急科医師・救命救急センター看護師から構成されるチームを呼び出します。適切な評価および介入を行うことで、患者さんが呼吸停止または心停止に至らないように未然に防止する取り組みを行っています。

# 患者サポートセンター

患者さんの生活と病院を繋げる架け橋となることを目的に、患者さんやその家族が抱える様々な不安や心配事を解決し、安心して療養生活や社会復帰が出来るよう、入退院支援、福祉相談、がん相談支援が一元となってサポートしています。

地域の医療機関や福祉機関との地域医療連携を推進し、患者さんの紹介や入院に関する問い合わせ、他の医療機関の紹介・予約、退院調整、療養生活のサポートなどにも対応します。



患者サポートセンター

## 地域との関わり

### オープンホスピタル

病院を知ってもらうため、年1回地域住民等に向けて病院を開放して見学会を開催しています。



オープンホスピタル

### 院内七夕飾り

JA みやぎ仙南さつき会、金ヶ瀬放課後子供教室の児童のご協力により、七夕飾りを実施しています。



院内七夕飾り

### 中学生・高校生 病院見学会

将来の進路として医療に関心を持つ中学生・高校生を対象に医療の現場を紹介する見学会を実施しています。



中学生・高校生病院見学会

### 中核だより

住民向けに、病院広報誌として「中核だより」を発行しています。

# 健診センター

病院内の「健診センター」では、企業、自治体などの定期健康診断や人間ドックのほかに、特定保健指導の対象となる受診者は健診当日に保健指導を受けることができます。また、特殊健診（有機溶剤・特定化学物質等）にも対応しています。

## 健診種類

- 定期健康診断
- 雇入時健康診断
- 人間ドック
- 特定健康調査・特定保健指導

## オプション健診

- 脳ドック
- 乳がん・子宮がん検診
- 肺がん検診（胸部ヘリカル CT）
- 骨密度検査
- ABC（胃がんリスク）検査
- 腫瘍マーカー検査



# 附属施設



## 附属村田診療所

附属村田診療所は、宮城県立村田高等学校入口南側にあります。診療体制は、内科医常勤1名、外科医常勤1名です。小児科は月曜日午前・木曜日午前、皮膚科は月曜日午後・金曜日後に、応援医師による診療を行っています。

### <主な診療内容>

血液検査／検尿・検便／レントゲン・心電図検査／腹部超音波検査／骨密度検査（骨塩定量測定）／ケガなどの創傷処置／健康診断・予防接種／訪問診療／特別養護老人ホームでの診察／管理栄養士による栄養相談

## 附属訪問看護ステーション

主治医からの指示を受け、ご自宅での療養を希望される方のお宅に訪問し、24時間体制で1人ひとりの状態に応じた看護サービスを提供しています。

### <訪問看護の内容>

健康状態の観察／病状悪化の防止・回復／療養生活のアドバイス／リハビリテーション／点滴などの医療処置／床ずれの予防・処置／痛みの緩和や服薬管理／緊急時の対応／主治医・ケアマネジャーとの連携 など

### 訪問リハビリテーション

みやぎ県南中核病院の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が出向し、訪問リハビリテーションを行っております。



# 福利厚生



## 院内保育所 (オガール)

普通保育、一時預かり保育、夜間保育等を行い、夜勤勤務職員等の勤務形態に対応しています。



## 職員借上住宅 (アルビレオ、スピカ)

病院まで徒歩 10 分以内の単身者向けアパートで、アルビレオ（20 戸）は主に研修医、スピカ（20 戸）は新人看護師等が入居しています。



## 職員宿泊施設 (デネブ)

待機職員のための宿泊施設が病院敷地内にあります。待機用個室と研修室があります。

# 組織図

### ■ 内科系診療部

内科・総合診療科（院内標榜）、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓・膠原病内科、血液内科、脳神経内科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、リハビリテーション科、精神科

### ■ 外科系診療部

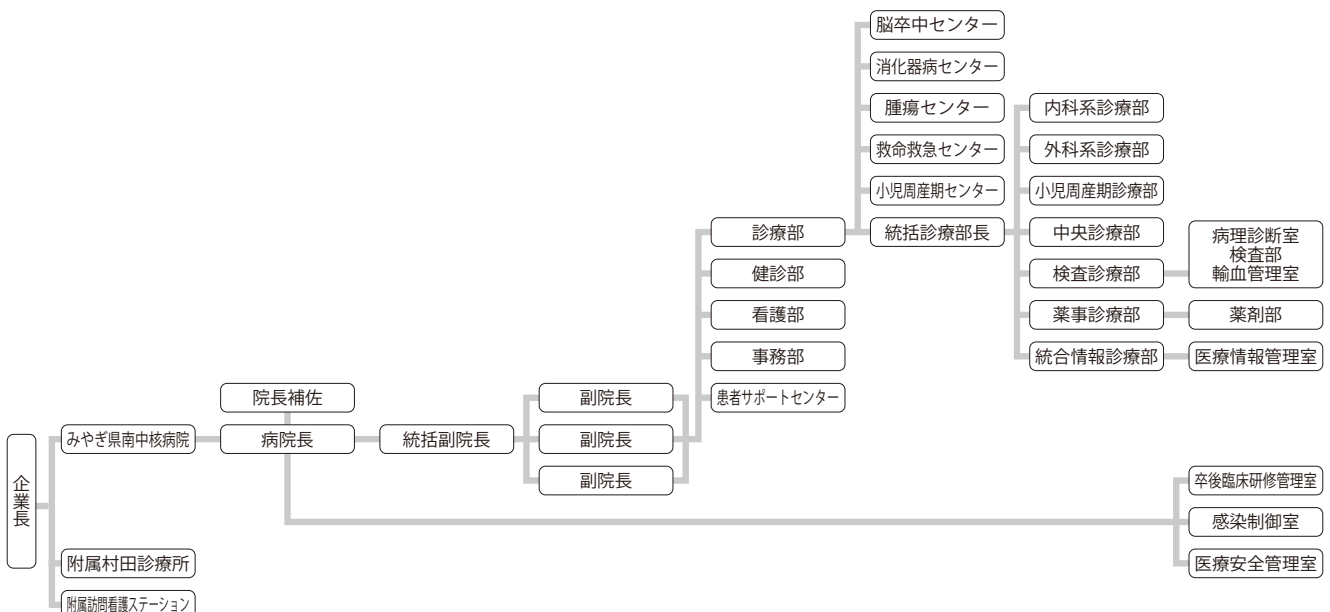
消化器外科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、血管外科

### ■ 小児周産期診療部

小児科、産婦人科

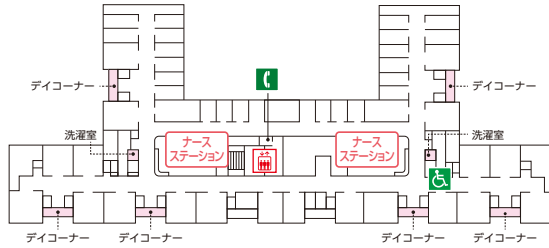
### ■ 中央診療部

手術室、放射線部、カテーテル室、NST 室（栄養管理室）、人工透析室、リハビリテーション部、臨床工学室



# 案内図

## 3階～5階案内図



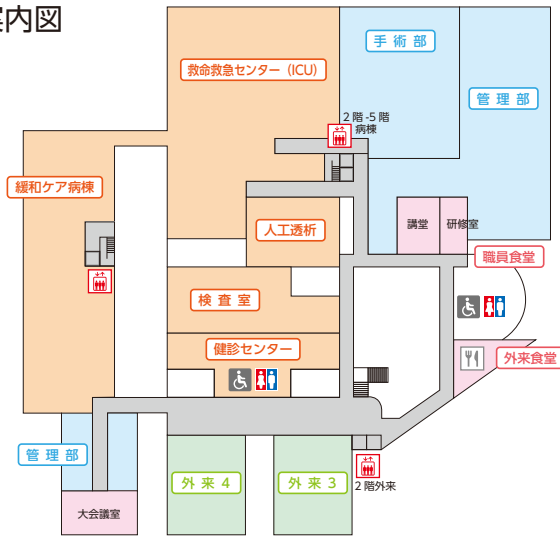
## 3階・4階・5階

- 一般病棟
  - 5階 東病棟 /501～526
  - 西病棟 /551～572
- 4階 東病棟 /401～426
- 西病棟 /451～476
- 3階 東病棟 /301～326
- 西病棟 /351～376

## 2階

- 外来3 小児科、眼科、歯科口腔外科
- 外来4 産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科
- 人工透析
- 健診センター
- 病理診断室（検査室内）
- 細菌検査室（検査室内）
- 検査室
- 感染制御室
- 医療安全管理室
- 救命救急センター（ICU）
- 緩和ケア病棟
- 手術部
- 管理部
- 外来食堂、職員食堂

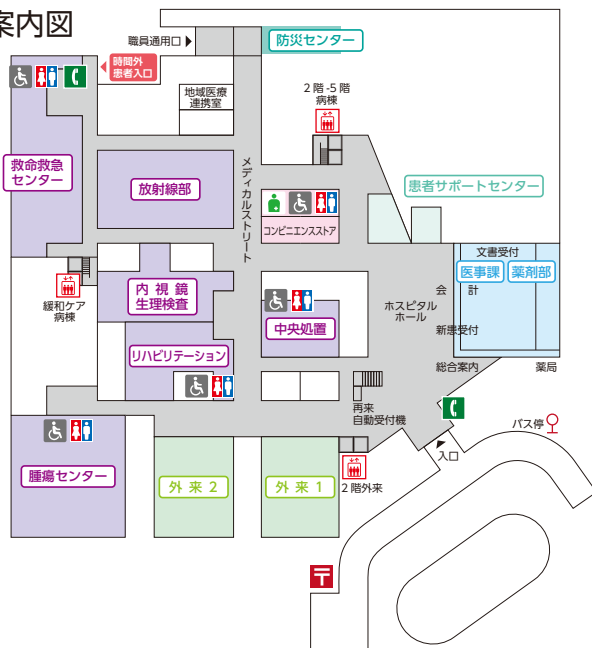
## 2階案内図



## 1階

- 外来1 内科・総合診療科（院内標榜）、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓・膠原病内科
- 外来2 外科・消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、脳神経内科、血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科
- 腫瘍センター  
（腫瘍内科、緩和ケア内科、化学療法室、放射線治療室）
- リハビリテーション
- 中央処置
- 生理検査
- 内視鏡
- 放射線部
- 救命救急センター（外来）
- 薬剤部
- 患者サポートセンター
- 栄養管理室
- 総合案内
- 医事課
- 売店（コンビニエンスストア）
- 防災センター

## 1階案内図



## 治 革

1992年(平成4年)	柴田町・村田町・大河原町共同推進事業協議会設立(10月1日)
1995年(平成7年)	同協議会で「柴田地域保健医療圏における組合立総合病院マスタープラン」作成(3月28日)
1998年(平成10年)	角田市が組合立病院建設に参画する確認書の締結(5月1日)
2000年(平成12年)	(仮称) 県南中核病院新築工事着工(7月19日)
2002年(平成14年)	「みやぎ県南中核病院」に名称決定(4月1日)
2002年(平成14年)	みやぎ県南中核病院新築工事完成(4月30日)
2002年(平成14年)	みやぎ県南中核病院 開院(8月1日)
2003年(平成15年)	救急告示病院指定(2月)
2003年(平成15年)	臨床研修病院指定(11月)
2004年(平成16年)	地域医療支援病院承認(11月)
2004年(平成16年)	日本医療機能評価機構認定(Ver.4)(12月)
2006年(平成18年)	DPC対象病院(4月)
2006年(平成18年)	7対1看護取得(6月)
2008年(平成20年)	地域災害医療センター(災害拠点病院)指定(6月)
2009年(平成21年)	みやぎ県南中核病院改革プラン策定
2009年(平成21年)	日本医療機能評価機構更新認定(Ver.6.0)(12月)
2010年(平成22年)	災害派遣チーム(DMAT)指定病院(5月)
2012年(平成24年)	地方公営企業法全部適用 みやぎ県南中核病院企業団に移行(4月)
2012年(平成24年)	卒後臨床研修評価機構認定(4月)
2012年(平成24年)	院内保育所「オガーレ保育園」開所(10月)
2013年(平成25年)	救命救急センターオープン(2月)(増築棟完成により、310床へ増床)
2013年(平成25年)	腫瘍センターオープン(放射線治療開始)(8月)
2014年(平成26年)	卒後臨床研修病院機構更新認定(4月)
2014年(平成26年)	地域救命救急センター指定(7月)
2015年(平成27年)	日本医療機能評価機構更新認定(3rdG:Ver.1.0)(3月)
2015年(平成27年)	緩和ケア病棟開棟(5月)
2015年(平成27年)	へき地医療拠点病院指定(8月)
2016年(平成28年)	地域がん診療連携拠点病院指定(4月)
2018年(平成30年)	原子力災害医療協力機関登録(11月)
2019年(平成31年)	地域がん診療病院指定(4月)
2020年(令和2年)	日本医療機能評価機構更新認定(3rdG:Ver.2.0)(2月)
2020年(令和2年)	患者サポートセンターオープン(5月)
2023年(令和5年)	第二種感染症指定医療機関(4床)(10月)
2023年(令和5年)	みやぎ県南中核病院経営強化プラン策定(10月)
2024年(令和6年)	地域がん診療連携拠点病院再指定(4月)
2024年(令和6年)	小児周産期センター開設(6月)

## 病院概要 (2024年9月現在)

名称	みやぎ県南中核病院企業団 みやぎ県南中核病院
開設年月日	2002年8月1日
所在地	宮城県柴田郡大河原町字西38番地1
管理者	企業長 下瀬川 徹
病院長	伊勢福 修司
病床数	310床
敷地面積	50,912.00㎡
建物概要	5階建 27,711.25㎡
診療科目	内科・総合診療科(院内標榜)、精神科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓・膠原病内科、血液内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、皮膚科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科

### 基本診療料の施設基準

医療DX推進体制整備加算、医療情報取得加算、地域歯科診療支援病院歯科初診料、歯科外来診療医療安全対策加算2、歯科外来診療感染対策加算3、歯科診療特別対応連携加算、急性期一般入院科1、総合入院体制加算3、臨床研修病院入院診療加算、救急医療管理加算、超急性期脳卒中加算、妊産婦緊急搬送入院加算、診療録管理体制加算3、医師事務作業補助体制加算1(30対1)、急性期看護補助体制加算(25対1)5割以上「夜間100対1」、療養環境加算、重症者等療養環境加算、がん拠点病院加算1(イ、がん診療連携拠点病院)、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算1(地域連携加算)、感染対策向上加算1(指導強化加算)、患者サポート体制充実加算、後発医薬品使用体制加算3、バイオ後続品使用体制加算、病棟薬剤業務実施加算1、病棟薬剤業務実施加算2、データ提出加算2(イ)、入退院支援加算2(地域連携診療計画加算・入院時支援加算)、認知症ケア加算3、せん妄ハイリスク患者ケア加算、精神疾患診療体制加算、地域医療体制確保加算

### 指定医療機関等

地域医療支援病院、厚生労働省指定 臨床研修指定病院、救急告示医療機関、日本医療機能評価機構認定病院、地域災害医療センター(災害拠点病院)指定、保険医療機関、生活保護法指定医療機関、労災保険指定医療機関、結核予防法指定医療機関、更生医療指定医療機関、母体保護法設備指定医療機関、被爆者一般疾病指定医療機関、乳児一般健康診査実施担当指定医療機関、妊婦一般健康診査実施担当指定医療機関、救命救急センター指定、地域がん診療連携拠点病院指定、へき地医療拠点病院、第二種感染症指定医療機関

### 学会認定施設

日本内科学会 認定医制度教育関連施設、日本循環器学会 循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション学会 研修関連施設、日本消化器病学会 専門医認定施設、日本消化器内視鏡学会 認定指導施設、日本呼吸器学会 認定施設、日本神経学会 専門医制度教育施設、日本脳卒中学会 認定研修教育病院、日本外科学会 外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会 専門医修練施設、日本大腸肛門病学会 専門医修練施設、日本整形外科学会 専門医制度研修施設、日本脳神経外科学会 専門医認定制度指導訓練場所、日本皮膚科学会 認定専門医研修施設、日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医教育施設、日本形成外科学会 教育関連施設、日本救急医学会 救急科専門医指定施設、日本麻酔科学会 麻酔指導病院、日本病理学会 研修認定施設B、日本静脈経腸栄養学会 実地修練認定教育施設、マンモグラフィ検診施設画像認定、日本がん治療認定医機構 認定研修施設、日本小児科学会 専門医研修施設、日本緩和医療学会 認定研修施設、日本口腔外科学会 専門医制度関連研修施設、日本リウマチ学会 教育施設、日本リハビリテーション医学会 認定研修施設、日本アレルギー学会 アレルギー専門医準教育研修施設(小児科)、日本消化管学会 胃腸科認定施設、日本糖尿病学会 認定教育施設1、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 エキスパンダー実施施設(二次再建)

## 交通案内

### ●公共交通機関をご利用の方

JR東北本線大河原駅より

宮城交通バス(川崎方面・村田営業所行き)乗車 約7分

「大河原町総合体育館前」又は「中核病院前」下車

### ●お車をご利用の方

東北自動車道「村田IC」より南へ 約15分

「白石IC」より北へ 約20分

### ●駐車場のご案内

駐車料金は無料です。



けんなんちゅうかくびょういん  
**みやぎ県南中核病院**  
South Miyagi Medical Center

〒989-1253 宮城県柴田郡大河原町字西 38 番地 1

**TEL. 0224-51-5500** (代表)

**FAX. 0224-51-5515**

<https://www.southmiyagi-mc.jp>

